

ストップマーク取扱上の注意(2)

Q & A

- Q: のりが付かない。
A: 気温が低い場合は、貼り付けることができません。「寒い時期の貼り付けについて」の説明をお読みください。
- Q: 気温は、暖かいのがのりが付かない。
A: 保管上の問題で接着剤が硬化することがあります。「保管上の注意」をお読みください。
- Q: 雨に濡れて滑りやすくなることはないか。
A: 表面に樹脂加工とともにすべり止め処理をしていますので、すべりやすくなるということはありません。
- Q: 表面がすり切れてきたシートを剥がしたいがどうすればよいか。
A: バーナーで軽く暖めて手ではがすと簡単にはがれます。
- Q: すり切れて裏のアルミ箔が表面にでてきている状態で、新しいものを貼ることができるか。
A: 上から貼ってもまったく問題ありません。
- Q: 路面の状態がわるいのか大きなものを貼ったとき端がめくれてきたりする。もっとしっかりと貼る方法はないか。
Q: ややめんどろですが、プライマーを路面に塗って前処理をしておく方法があります。プライマーは接着剤ではありません。路面の細かな孔を埋め表面の小さなゴミとホコリを固める効果があります。貼り付け方法は、右図に従ってください。
- Q: 保管の仕方が悪いのか、使用期限を超えたため接着剤の性能がなくなってしまった。なにか方法はないか。
A: 市販の接着剤でコンクリート・金属用の接着剤を使用して硬化した部分に塗って貼ることが出来ます。当社のテストでは、セメダインスーパーXのクリヤータイプが比較的接着力がありのりが透明なのでのりがついていても汚れが目立たず、結果が良好でした。
(ただし弊社ではその品質を保証するものではありませんので、お試しのうえご使用ください。)

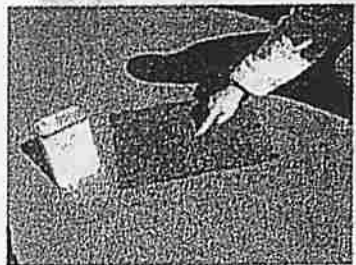
プライマーを使用した貼付方法



①路面を清掃してごみ、ほこりをとる。



②プライマーP-48を刷毛またはローラーで少し大きめに塗布する。



③指触乾燥（指で触れてもベトつかない程度の乾燥）をさせる。（プライマーは1Lで約5㎡貼ることができます。）



④あとは通常と同じく、裏紙を剥がして貼りつけ上から良く圧さえる。

ストップマーク取扱上の注意

施工方法



①路面をよく清掃して埃、ゴミをとっておいください。



②裏紙を剥がすと、裏に接着剤がついております。



③手で圧えて路面に貼り付けます。



注意

寒い時期の貼り付けについて

10℃以下の温度では貼り付きません。朝方など気温が10℃以上の場合でも路面温度はそれ以下場合があります。その場合温まるまで目安として2時間程度経ってから貼ってください。また実際に貼って見て粘着力があるようでしたら大丈夫です。



注意

保管上の注意

しっかりと紙で包んで、重ねたシートを抑えるようにして保管するようにしてください。バラの状態で放置するとシートがカールして端の方の裏紙がめくれてきます。この場合のりの表面が長期にわたって直に空気に触れた状態となり、化学変化によって接着性がまったくなくなることがあります。



注意

路面が雨に濡れているときは、避けてください。下から水が染み出てくるようなところには貼れません。



注意

使用期限：6ヶ月以内に使い切るようにしてください。



注意

気温の低い時は貼れません。